

一般質問

問 加齢性難聴の補聴器購入助成を

答 検討する時期に来ている



丸山 千代子 議員

加齢性難聴は日常生活を不便にし、「コミュニケーションを落とす原因になる。活の質を落とす原因になる。最近ではうつや認知症の危険因子になると指摘されている。70歳以上の高齢者のおよそ半数は加齢性難聴と推定される。

問 実態調査と聴こえの検査を。

答 健康福祉部長 平成29年に70歳以上が5671人で、1173人が人間ドッグの聴力検査を受診し、要医療、要精検の判定者が28%の3288人であった。

問 聴こえの検査は、住民健診で実施できるのか、今後の検討課題としたい。

答 補聴器所有率は、個人購入のため把握できていない。

問 加齢性難聴者への対応。昨年のごった健康福祉



補聴器

まつりでは、聴こえの相談コーナー、デコ補聴器づくり体験コーナーを開く。

問 世界保健機関(WHO)は41※デシベル以上に補聴器を推奨しているが、片耳で20万円以上と見送る人も多い。加齢性難聴者補聴器購入助成を。

答 町長 いろいろな助成制度の例を参考にして、検討する時期に来ていると思う。

※デシベルとは音の大きさを表す単位

問 スカート・ズボン選択自由に

答 決めつけていく考え方はない

いま性的少数者(LGBT)の人たちが自ら、社会の中にある偏見や差別をなくしたいと声をあげている。2015年東京都渋谷区と世田谷区が、同性のLGBTの婚姻に相当する関係にあることを証明するパートナーシップ制度が導入された。誰もが生きやすい社会になるための多様性を問う。

問 LGBTの意識調査を。 企画部長 昨年、町の

男女共同参画に関するアンケート調査で、意味を失っているかの問いに対して、42・9%の認知度であった。

問 行政文書の性別記入欄廃止と相談窓口を。

答 調査でどれくらいあるか把握し、見直しに取り組みたい。

教育部長 県には精神保健福祉センターと教育相談ところの電話センターがあり、悩みの相談窓口と連携していきたい。

問 パートナーシップ制度導入を。

答 企画部長 これからの研究課題と考えている。

問 小中学校制服をスカート・スボンの選択自由を。

答 教育部長 教育委員会では、男子はスラックス、女子はスカートと将来にわたって決めつけていく考え方はない。

一般質問



なかね ひさし 中根 久治 議員

問 平成時代に地図から消えた神社

答 国土地理院地図がベースのため



明治6年大日本陸地測量部
もう1つの神社とは



昭和49年国土地理院
寺院は誤記か



平成21年国土地理院
神社の表示はないが

問 スマホでは素戔嗚神社は権行寺という寺院になっている。その経緯を問う。
答 明治から昭和まで、素戔嗚神社の近くにあるもう一つの神社とは。

答 国土地理院の表記誤りと推察。
問 昭和三十年代の町発行地図には神社の横に寺院がある。誤記か。

問 昭和三十年代発行の幸田町全図に記載の権行寺は誤記か。
答 建設部長 同じ経過からの地図表記誤りと思う。

て本編とリンクさせることで信頼性が高まる。
問 資料編は現3冊で完了なのか。古代編や平成編はどうするか。
答 教育部長 新たな編さんの考えはない。

問 昭和60年代の教育委員会発行の報告書にある素戔嗚神社の横の寺院は誤記か。
答 教育部長 ベースとなる国土地理院の地図に起因するもの。

問 平成20年代の教育委員会発行の報告書には素戔嗚神社の記載がない。なぜか。
答 発行部数・頒布部数は不明。

問 報告書は、国土地理院の地図をベースとして使用し、意図するものを落とし込む作業により作成したため。
問 残部など詳細がわからないのはなぜか。
答 発行・頒布は、京都の書店であり、町が印刷・販売したものでない。

問 復刻版はどこで閲覧できるか。残部は何冊か。
答 図書館に3冊、他には郷土資料館で。

問 資料編発行から22年が過ぎた。本編編さんに必要な人材が失われていく急ぐべきだ。
答 町長 新編の町史編さんとは、どんな形でスタートするか見きわめたい。

問 新編町史に向けて資料編の充実

答 スタートの形を見きわめたい

町史資料編はしっかりとできている。さらに拡大し